

稲荷台自治会

稲荷台自治会は板橋区の東部に位置している。稲荷台と言う名は、加賀小学校脇の日暮里山公園からお稲荷さん（今は双葉町の氷川神社にある）が出てきたことによると聞いている。また、歴史的に見ると、稲荷台小学校（現加賀小学校）の建設工事で初期縄文式土器が発掘され稲荷台式遺跡としても知られている。

平成元年に板橋区当局より助成金を頂き永年の念願であった自治会館を建設する事が出来たことは、自治会活動の大きな励みとなった。秋のお祭りは自治会館の前で盆踊りが出来、賑やかさが一層盛り上がっている。

当自治会は発足当初より「お年寄りには思いやりを、子供さんには温かさを」をモットーとして歴代会長を中心として代々受け継がれ、今でもお年寄りが小学校に出向き、独楽回し、お手玉等の昔遊びや、よもぎ団子作りなどを教えて交流をはかっている。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています



稲荷台自治会館



盆踊り